

支 出 書

| | | |
|---------------|--|-------------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. / - / |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 1, 0 2 2, 2 4 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 0 年 4 月 1 7 日 | |
| 支出内容 | 平成 30 年 4 月 25 日～4 月 27 日, 行政視察（秋田県秋田市, 新潟県新潟市, 東京都大田区）への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|---|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | <input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

領収書添付用紙

支出書整理No. 1-1

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様

¥117,560

但、4月25日～4月27日
行政視察(秋田県秋田市、新潟
県新潟市、東京都大田区)への
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|----------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田、新潟、東京 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 小林 茂裕 

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様

¥117,560

但、4月25日～4月27日
行政視察(秋田県秋田市、新潟
県新潟市、東京都大田区)への
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|----------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田、新潟、東京 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 早川 佳行



領収書添付用紙

支出書整理No. 1-1

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様


¥117,560

但、4月25日～4月27日
行政視察(秋田県秋田市、新潟
県新潟市、東京都大田区)への
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|----------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田、新潟、東京 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 熊谷 寿人 

領収書添付用紙

支出書整理No. 1-1

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様

¥117,560

但、4月25日～4月27日
行政視察(秋田県秋田市、新潟
県新潟市、東京都大田区)への
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|----------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田、新潟、東京 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 榊原 則男



領収書添付用紙

支出書整理No.

1-1

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様

¥117,560

但、4月25日～4月27日

行政視察(秋田県秋田市、新潟
県新潟市、東京都大田区)への
出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|----------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田、新潟、東京 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 今岡 芳徳



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様


¥117,560

但、4月25日～4月27日
 行政視察(秋田県秋田市、新潟
 県新潟市、東京都大田区)への
 出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|------------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田, 新潟, 東京 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 連石 武則 

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様

¥117,560

但、4月25日～4月27日

行政視察(秋田県秋田市、新潟
県新潟市、東京都大田区)への
出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|----------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田、新潟、東京 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 石 口 智 志



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様

¥99,660

但、4月25日～4月26日

行政視察(秋田県秋田市、新潟
県新潟市)への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|--------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田, 新潟 |
| 日 当 | 6,200円 | 2日 |
| 宿 泊 料 | 14,800円 | 1泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 五阿彌 寛之



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年4月17日

(代表者) 早川 佳行 様

¥99,660


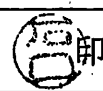
但、4月25日～4月26日
行政視察(秋田県秋田市、新潟
県新潟市)への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|--------|
| 交 通 費 | 78,660円 | 秋田, 新潟 |
| 日 当 | 6,200円 | 2日 |
| 宿 泊 料 | 14,800円 | 1泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会(名 前) 喜 田 紘 平

研究研修・調査報告書

| | | | |
|---|--|-------|---|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 30 年 5 月 2 日 |
| 代 表 者 | 早 川 佳 行  | 報 告 者 | 石 口 智 志  |
| 参 加 者 | 4 月 25 日～4 月 26 日 (秋田・新潟) 五阿彌 寛之 喜田 紘平 4 月 25 日～4 月 27 日 (秋田・新潟・東京) 小林 茂裕 熊谷 寿人 早川 佳行 榑原 則男 今岡 芳徳 連石 武則 石口 智志 | | |
| 実 施 日 | 平成 30 年 4 月 25 日 ～ 平成 30 年 4 月 27 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 秋田県秋田市役所 小中学校における学力向上の取り組みについて 新潟県新潟市役所 スマートウエルネスシティについて 東京都大田区 アルフォ城南島飼料化センター 東京スーパーエコタウン事業について | | |
| 目 的 | 他市行政の先進的な取り組みを視察研修し議会活動に生かす | | |
| 研修内容 ○ 4 月 25 日 14 時 30 分～15 時 30 分 視察：小中学校における学力向上の取り組みについて（秋田県秋田市） 全国学力状況調査で、常に全国トップクラスを誇る秋田県教育の特色を学ぶため秋田市を視察した。 秋田市教育委員会の話では、他市と特段の違いはないとしながらも、「【知】…知性、学力よりも【徳】…道徳、品性、社会性をまず大切にし、子どもたちの心の土台を育むことを何よりも大切にしている、それを学校現場でも各家庭にも大切にしてもらっている。そのために、学校と各家庭、学校と教育委員会との連携力の強化に重点を置き、そのことが結果として学力の向上に繋がっている。」ということであった。 データにもそれは表れていて、全国学力状況調査と共に子どもたちにアンケート調査される、「自分には良いところがあると思うか？」「人の役に立つ人間になりたいか？」などの心の機微に関するアンケート結果においても、どれも全国平均の数値を上回り、中にはかなり大きく数値を上回った結果が出ていた。 | | | |

秋田市の子どもたちの心の土台を育む教育、子どもたちの自己肯定感や自尊心を育む教育は、福山市の今後の教育発展に大いに参考になった。

○ 4月26日 13時30分～15時

視察：スマートウエルネスシティについて（新潟県新潟市）

新潟市では、超高齢社会の進行や車依存などで、食習慣や運動不足などから生活習慣病が増え、医療費や介護給付費などの社会保障費の増加につながることから、生活習慣病や寝たきり予防を踏まえた健康づくりと、健康につながる都市づくりを推進している。

「歩く」こと、「外に出てみる」ことで、生涯にわたり健やかで幸せ（健幸）に暮らせるまちをめざし、平成23年12月にスマートウエルネスシティ総合特区の指定を受け、平成24年7月には「新潟市公共交通及び自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例」を制定して、まちづくりに取り組んでいる。

健康づくり支援事業やウォーキングイベント、健康遊具の活用などの健康・食育イベントや教室の開催にとどまらず、出かけるための公共交通網の整備や、お出かけポイントの付与、また歩行・自転車空間の整備など総合的に取り組んでおり、こうした視点を明確に示すまちづくりについては、本市の参考になる。

○ 4月27日 10時～12時

視察：東京スーパーエコタウン事業について（東京都大田区）

食品リサイクル法では、生産・流通・消費の各段階で、食べ残しなど大量の食品が廃棄され、環境への負荷が社会問題になっていることや、食料の多くを輸入に依存している我国で大量の食品を廃棄すること自体が大きな問題であることから、食品廃棄物の発生を抑制するとともに、食品循環資源の有効利用を促進することで、循環型社会の構築を目指すとしている。

今回視察したアルフォ城南島飼料化センターは、調理残さや食べ残し、売れ残りとなった食品廃棄物を受け入れ、廃食用油を熱媒体とする蒸気により食品廃棄物を間接加熱することで、食品廃棄物に含まれる約80%の水分を乾燥処理（油温減圧式脱水乾燥法）し異物を除去することで、養鶏・養豚用の配合飼料原料として製造・販売している。

また、各機器を密閉状態にして臭気を吸引し、燃焼脱臭炉により約800℃の温度で燃焼分解処理を行なうなど除去することで、施設自身の環境保全に万全を期し近隣地域に配慮している。その優れた取組みから東京スーパーエコタウン事業に指定されている。

本行政視察で学んだことを参考にして本市の現状を考慮した方向性を示すとともに、議会における一般質問や委員会質疑を通じて施策提案につなげていきたい。

支 出 書

| | | |
|---------------|---|-----------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-2 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 6 2 , 1 8 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 0 年 6 月 2 0 日 | |
| 支出内容 | 平成 30 年 7 月 25 日～7 月 27 日, NOMA 行政管理講座「政務活動費の適正な支出と活用法」(大阪府大阪市)とライフスキル教育・健康教育ワークショップ(兵庫県伊丹市)への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|--|
| 領 収 書 (該当○印) | ④ (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年6月20日

(代表者) 榊原 則男 様

¥62,180

但、7月25日～7月27日

NOMA行政管理講座 (大阪府大阪市)
及びライフスキル教育・健康教育W
S (兵庫県伊丹市) への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました



| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|-------|
| 交 通 費 | 23,280円 | 大阪・伊丹 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志



研究研修・調査報告書

| | | | |
|-------------|---|-------|---|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 30 年 7 月 30 日 |
| 代 表 者 | 榑 原 則 男  | 報 告 者 | 石 口 智 志  |
| 参 加 者 | 石 口 智 志 | | |
| 実 施 日 | 平成 30 年 7 月 25 日 ～ 平成 30 年 7 月 27 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 大阪府大阪市 大阪科学技術センター NOMA 行政管理講座「政務活動費の適正な支出と活用法」 兵庫県伊丹市 伊丹市立文化会館 ライフスキル教育・健康教育ワークショップ | | |
| 目 的 | 政務活動費の基本的な考え方及び今後の活用のあり方や活用法について学ぶ。 道徳的価値観だけでなく行動変容につながるいじめ対策について考察し、学校現場における実践的ないじめ予防プログラムにつくる。 | | |
| 研修内容 | <p>○ 7 月 25 日 10 時～16 時</p> <p>研修では、地方自治法第 100 条第 14 項「調査研究その他の活動に資するため」について「調査研究、その他の活動」とはなっていないため、「その他の活動」は調査研究につながるものに限定すべきであり、「有権者の感覚との大きなズレを自覚し、そのことと真摯に向き合わない限り、政務活動費を巡る問題の再発防止の道はない」と危機感を持って臨んだ。</p> <p>続いて、最近の判例の動きを踏まえて考え方を整理し、自治体へ還元をされるものが推測できるかどうかにより、用途の適正さをより明確に判断できるとした。</p> <p>平成 29 年 1 月 31 日の仙台地裁では「政調費の用途を議員側が合理的に立証できない場合は違法な支出と判断できる」とされ、広報紙については、講演会の謝辞や議会質疑などが掲載されていたことから「後援会自体の拡充を図ることにあるものと推認される」として全額違法と認定、ホームページ制作費についてもプロフィール等が掲載されていたことから半額が不当とされた。</p> | | |

こうした判例を踏まえると、極めて広範囲な政務活動に対する解釈が、地方自治法 100 条 14 項の解釈としては誤りであると捉え、政務活動費の「政務」の意味を議会会派による政策の立案・決定・提言の機能に引き寄せて解釈し、その機能が適正に発揮される方向で政務活動費の使途を転換する必要がある。

今後の課題としては、使用後の政策的効果をどのように報告し判定するかがあり、インターネット等で公開の際には、透明性を維持するためには、会計報告だけでなく活動の成果報告を併せて検討すべきである。

○ 7月26日 9時30分～17時

食習慣は幼年期からの繰り返しによって影響されるものであり生活習慣病といわれるゆえんである。おやつは成長とともに子ども達が主体的に選んで食べるものであり、生涯の生活習慣につながる大切なものである。砂糖や食塩を取りすぎない、食物繊維を積極的に食べるとよいことを基本知識として学習するため、授業の中で計測器を用いて普段食べているおやつの砂糖・塩分濃度を知ることから日々のおやつの選択（意思決定）を考える。

午後のセッションでは、男女の関係・親子の関係を考えながら、思春期というストレスフルな時期を戸惑いながら生きる子ども達が遭遇する様々な困難を乗り越え成長していくための必要な特性や能力を育てることをめざす。

特にストレスについては、動物実験（物理的・科学的刺激＝ストレッサーを与える）では個体差がなくストレスは有害という考え方が広まったが、人間の場合、社会的ストレスのため個人差があり、ストレスを受け、克服することで成長につながる面もあり、レジリエンシー（精神的回復力）やソーシャル・サポート感を培いながら高い自己肯定感をもった子どもを育てていく。

○ 7月27日 9時15分～16時

いじめ防止について従来は被害者・加害者への対策だけでなく、いじめを目撃した子ども達が被害者を助ける行動をとれるよう支援することが、いじめ防止の観点からも目撃者のメンタルヘルス向上の観点からも重要であり、「いじめは許されない」といった道徳的価値観だけでなく、如何に行動変容に結びつけるかといった視点で合理的行動理論や計画的行動理論を踏まえていじめ予防プログラムを作成する。

コミュニケーションスキルのうち「よく聞く」ことに焦点を当て、スキルの習得・理解を深める授業の進め方を学ぶ。「よく聞く」ことの意義や行動について演習し、日常生活への応用について考える。

政務活動費については、議会と市長は車の両輪に例えられるようにその権限が与えられている。議会に対しては市長に対するチェック機能だけでなく、条例の提案

や議案（予算案）の修正など質的な向上を図る義務（権限）も与えられている。議会に諮られる議案の細部について検討を加え、より市民の希望に沿った修正を行っていくためには、議員は政務活動費を駆使して調査を行う必要があり、積極的な活用が求められる。またそれを実行しなければ、議会不要論を押し返すことはできないと感じた。研修内容を会派で共有できるよう取り組んでいきたい。

またライフスキル教育については、意思決定スキル等の習得を通して高い自己肯定感をもった子どもを育成するとともに、最新の調査・研究に基づいたいじめ予防プログラムの作成が求められており、全国各地から参加した教育関係者の実践を交流することで、いじめ予防のための効果的なプログラムの体験もできた。

本市でもいじめ防止は重要な教育課題であり、今回の研修で学んだことについては教育委員会と連携しながら、本市の学校教育に活かせるよう取り組んでいきたい。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|-----------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-3 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 89,290 円 | |
| 支出年月日 | 平成 30年 8月 2日 | |
| 支出内容 | 平成30年8月9日～8月11日, ライフスキル教育・健康教育ワークショップ（鹿児島県 鹿児島市）への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|---|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | 無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

支出書整理No. 1-3

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年8月2日

(代表者) 榑原 則男 様

¥89,290

但、8月9日～8月11日
ライフスキル教育・健康教育ワーク
ショップ（鹿児島県鹿児島市）への
出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|------|
| 交 通 費 | 51,940円 | 鹿児島 |
| 日 当 | 7,750円 | 2.5日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志 (印)

研究研修・調査報告書

| | | | |
|---|---|-------|------------------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 30 年 8 月 13 日 |
| 代 表 者 | 榑 原 則 男 (榑) | 報 告 者 | 石 口 智 志 (智) |
| 参 加 者 | 石 口 智 志 | | |
| 実 施 日 | 平成 30 年 8 月 9 日 ~ 平成 30 年 8 月 11 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 鹿児島県鹿児島市 鹿児島県文化センター ライフスキル教育・健康教育ワークショップ | | |
| 目 的 | いじめ目撃時の行動に焦点を当てたいじめ防止プログラムの内容と方法について体験的に学ぶ。 | | |
| <p>研修内容</p> <p>○ 8 月 10 日 10 時～12 時 20 分</p> <p>いじめ対応については、自己決定スキルとコミュニケーションスキルが大切である。良好な対人関係を形成するとともに、相手のセルフエスティームや心の健康に寄与するため「よく聞く」ことについて体験的に学習し、スキルの習得をめざした。「よく聞く」ことの意義や、「よく聞く」ための工夫や行い方について考え、演習することで、日常生活への応用について学んだ。</p> <p>○ 8 月 10 日 13 時 30 分～17 時</p> <p>1980 年代にノルウェーのオルヴェウスが提案した「ある生徒が、繰り返し、長期にわたり、一人または複数の生徒による拒否的行動にさらされており、自分を守ることが困難な場合、その生徒はいじめられていることになる」という定義がいじめの国際標準となっている。</p> <p>わが国では、繰り返される「いじめによる自殺」がマスコミにセンセーショナルに取り上げられるたび、教育委員会や学校の対応が問題視されることから、い</p> | | | |

いじめ発見に関心が集中し、国（文科省）のいじめの定義も、いじめをより幅広くとらえる方向に変遷し、またいじめ防止プログラムもいじめ予防よりもいじめ発見・対応に重点を置いたものとなっている。

本ワークショップでは、いじめを目撃した児童生徒もストレスを受けることに注目し、目撃者のメンタルヘルス向上という観点からいじめ防止プログラムを考えた。

いじめが引き起こす悪影響について、被害者、加害者、目撃者に与える影響という観点で分類し、いじめの影響は被害者だけにとどまらないことを気づかせることをねらいとしたいじめ防止プログラムを、新潟県新潟市、兵庫県姫路市、広島県福山市で実施した学校各1校、実施しなかった学校各1校で比較したところ、男女ともにいじめ被害経験率に有意な差がみられることが報告され、より有効なプログラムについて検討を行った。

○ 8月11日 9時30分～12時20分

対人関係課題への対処として、言語的・非言語的コミュニケーション、自己主張の要素等が活用できるが、本ワークショップでは意思決定スキルの有用性について考察した。課題について様々な選択肢や予想される結果を考えることがコミュニケーションの内容や具体性を広げることになることから、児童生徒が与えられた課題に対して、様々な選択肢を考え、それぞれの対人関係に与える結果を予測しながら、より望ましい人間関係を築いていくための効果的なコミュニケーションのあり方について考え、また対処法を演習した。

国の調査は、いじめの認知件数にとどまっており、いじめの定義が変遷することから効果的な追跡調査ができていない。また社会の注目度（いじめ自殺があった直後など）も、認知件数に影響を与えている。児童生徒の生命を守るためにも「いじめの早期発見」は軽視できないが、繰り返されるいじめ事案に対して、いじめ予防の観点からのアプローチが必要ではないかと考える。本ワークショップについては、大学教授をはじめとした研究者や、小中学校の教諭（校長・教頭を含む）が集い、各校の実態や取り組み状況を交えながら、いじめ予防に向けた授業プログラムの作成・演習を行っている。

今回の研修でのいじめ予防は、多数を占める傍観者（観衆）の行動に焦点を当て、傍観者を減らす（行動を促す）ための具体的な方法を検討したもので、子ども達に傍観者でいることのリスクやストレスについて考えさせる授業づくりについて、教育委員会や学校に提案し、具体的ないじめ対策（予防）に活かしていきたい。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|--|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-4 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 5, 0 0 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 0 年 8 月 8 日 | |
| 支出内容 | 平成30年8月9日～8月11日 ライフスキル教育・健康教育ワークショップ（鹿児島県 鹿児島市）への参加費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|---|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | <input type="checkbox"/> 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

1-4

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのま

領 収 書

¥ 5,000

但し、ライフスキル教育ワークショップかごつま(鹿児島)2018(2018年8月10、11日)参加費として

上記の金額正に領収いたしました
2018年 8月 9日

石口 智志 様

伊丹市北本町 2-55-
クレール北本町102 川畑徹朗
JKYBライフスキル教育研究会
代表 川畑 徹

支 出 書

| | | |
|---------------|--|-----------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-5 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 27,730 円 | |
| 支出年月日 | 平成 30年 8月 8日 | |
| 支出内容 | 平成30年7月25日～7月27日, NOMA 行政管理講座「政務活動費の適正な支出と活用法」(大阪府大阪市)とライフスキル教育・健康教育ワークショップ(兵庫県伊丹市)への参加費及び振込手数料 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|--|
| 領 収 書 (該当○印) | ④ (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No. 1-5

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

No. 015077

領 収 書

石口 智志 様

印紙税法第五条
の非課税文書に
該当するため収入
印紙は貼付せず

¥ 21,600,-

上記 金額正に領収いたしました。

但し「政務活動費の適正な支出と活用法」
負担金

平成30年7月25日

| 入金内訳 | |
|------|---|
| 現金 | ✓ |
| 小切手 | |
| 振込 | |
| 手形 | |

 一般社団法人 日本経営協会

関西本部 山下裕利

担当者



- | | |
|---|---------------------|
| <input type="checkbox"/> 本部事務局 〒151-8538 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 | ☎ (03) 3403-1336(代) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 関西本部 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル | ☎ (06) 6443-6961(代) |
| <input type="checkbox"/> 中部本部 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル | ☎ (052) 957-4726(代) |
| <input type="checkbox"/> 九州本部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-6-16 西鉄博多駅前ビル | ☎ (092) 431-3365(代) |
| <input type="checkbox"/> 北海道本部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1 札幌北三条ビル | ☎ (011) 241-7500(代) |

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

1-5

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※ 枠内に
そのまま

ついては、

領 収 書

¥ 6,000-

但し、第27回JKYBライフスキル教育・健康教育ワークショップ
(2018年7月26、27日) 参加費として

上記の金額正に領収いたしました

2018年 7月 26日

石口 智志 様

伊丹市北本町 2-5-5
クレール北本町102 川畑徹朗
JKYBライフスキル教育研究
代表 川畑 徹

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

1-5

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

| | | | | | | | | |
|--------|---|-----|---|---|---|---|---|---|
| 口座記号番号 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | 出 | |
| 加入者名 | 水戸信託銀行 | | | | | | | |
| 金額 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 |
| | | | | 9 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 依頼人 | 田口 智志 | | | | | | | |
| 料金 | 130 | 附 印 | | | | | | |
| 備考 | 30-06-29 新市郵便局 (51068) N94160029 | | | | | | | |

この受領証は、大切に保管してください。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|-----------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-6 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 1 3 , 3 8 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 0 年 8 月 3 1 日 | |
| 支出内容 | 平成30年8月29日 広島県庁への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|--|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) <input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |
|-----------------|--|

領収書添付用紙

支出書整理No. 1-6

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会 1980年 8月 01日

(代表者) 榊原則男 様

10,380-

但、8月20日~ 月 日

広島県庁への

出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金額 | 摘要 |
|-----|----------|----|
| 交通費 | 10,280 | |
| 日 当 | 0,100 | |
| 宿泊料 | | |
| () | 10,380 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 小林茂裕



研究研修・調査報告書

| | | | |
|-------------|---|-------|--------------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 1980年 8月 29日 |
| 代 表 者 | 榑 原 則 男 (補) | 報 告 者 | 小 林 茂 裕 (報) |
| 参 加 者 | 小林茂裕 | | |
| 実 施 日 | 1980年 8月 29日 ~ 1980年 8月 29日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 広島県庁 | | |
| 目 的 | 西日本豪雨災害の復旧制度について | | |
| 研究研修・調査等の概要 | 広島県農林水産局水産課 木村担当監 (16:00 ~ 17:00) ○ 7月の豪雨災害で被災した農林水産施設の復旧の制度について。 1. 被災した施設であっても登記された施設については復旧制度の対象施設となる事。 2. 復旧費用に対する補助額の算定について。 | | |

○ 所感について.

1. 豪雨災害等で被災した農林施設の復旧制度については、現在では国の方針に基づいた県の制度がなされる。

2. 補助額の決定には、減価償却法が用いられ、経過した年数が長い程、復旧費に対する補助率が減り、約25年の施設では補助率が20%を切る金額となる。

上記の事から被災した施設が20年を越える様な施設であれば補助率が低く、資金の能力が低い申請者や対象施設については復旧が困難と存するのではないか。

補助対象施設の認定や補助率について、公の利益に資する度合や、現状を精査・考慮する中で補助率を算定するのが望ましいと考える。

又、今度の記録的な豪雨による復旧対策について、福山市においても、県制度を補完する制度が必要と考える。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|--|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-7 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 2 3 4, 2 6 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 0 年 9 月 5 日 | |
| 支出内容 | 平成 30 年 10 月 2 日～10 月 4 日, 行政視察（岩手県紫波町, 宮城県岩沼市及び女川町）へ の出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|---|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | 無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年9月5日

(代表者) 榊原 則男 様

¥117,130

但、10月2日～10月4日

行政視察（岩手県紫波町、宮城県岩沼市及び女川町）への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|----------|
| 交 通 費 | 79,780円 | 紫波、岩沼、女川 |
| 日 当 | 7,750円 | 2.5日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 石 口 智 志



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年9月5日

(代表者) 榊原 則男 様

¥117,130

但、10月2日～10月4日
行政視察（岩手県紫波町、宮城県岩
沼市及び女川町）への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました



| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|------------|
| 交 通 費 | 79,780円 | 紫波, 岩沼, 女川 |
| 日 当 | 7,750円 | 2.5日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 喜 田 絃 平



研究研修・調査報告書

| | | | |
|-------------|---|-------|---|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 30 年 10 月 12 日 |
| 代 表 者 | 榊 原 則 男  | 報 告 者 | 石 口 智 志  |
| 参 加 者 | 石 口 智 志 喜 田 紘 平 | | |
| 実 施 日 | 平成 30 年 10 月 2 日 ～ 平成 30 年 10 月 4 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 岩手県紫波町 情報交流館 宮城県岩沼市 岩沼市役所 宮城県女川町 まちなみ交流館 | | |
| 目 的 | 民間主導で駅前開発に取り組んだ紫波町オガールプロジェクトや東日本大震災で甚大な津波被害を受けた岩沼市のエココンパクトシティ、女川町の災害に強いまちづくりなど先進的な事例を学ぶ。 | | |
| 研修内容 | <p>○ 10 月 3 日 9 時 30 分～12 時 00 分 紫波町情報交流館</p> <p>新しく豊かで、魅力的かつ持続的に発展する街をめざして構想された紫波中央駅前都市整備事業（オガールプロジェクト）の視察を行い、担当者から官民が目的決定、施設建設・所有、事業運営、資金調達などの役割を分担・協力して行う PPP（Public Private Partnership）の手順、有効性や課題等について説明を受け、施設内を見学した。</p> <p>図書館や子育て応援センターといった公共施設と、産直店、カフェ、医院といった民間施設の複合施設である「オガールプラザ」を始め、「オガールベース」「オガールセンター」「岩手フットボールセンター」など、それぞれの事業手法について学んだ。</p> <p>プロジェクトがもたらした「まちづくりの拠点性の向上」「不動産価値の向上」「周辺地域への民間投資の誘発」など多くの効果があり、福山駅前の活性化策や市有地の有効活用につながる施策提案に役立つ内容であった。</p> | | |

○ 10月3日 15時20分～17時

岩沼市では、市域の約半分を津波による浸水被害を受けており、特に被害が大きかった玉浦地区については、社会福祉協議会等が支援するなかで旧来のコミュニティを維持しながら高台に集団移転し、あわせて商業施設を建設することで、新たに玉浦西地区としてまちづくりをすすめている。移転地が市中心部に近接していることから、市として旧市街地とあわせ、エココンパクトシティ化を進めている。

また旧玉浦地区については、多数の小島が浮かぶ松島湾で津波の威力が相殺された事例を参考に、「千年希望の丘」と名付けた丘陵地を造成し点在させている。計画では15基の築造を目標とし、平成25年から現在までに14基が完成している。

○ 10月4日 10時～12時20分

女川町では、高さ17～18mの津波により沿岸部で甚大な被害を受け、人口の8.3%にあたる827人の犠牲者を出した。また震災後の7年間で約34%人口が減り、人口減少率は全国の市町村中最も高い。そのため、将来の人口減少も見すえ、また津波被害に備えた都市構造とするため、復興予算を活用して災害に強いまちづくりに取り組んでいる。

明治三陸津波と同程度の高さ4.4mの防波堤を海岸線に沿って建設し、防波堤の上に国道、さらに内側を埋め立てることによって、防波堤は海への視線を遮ることなく自然な形でまちが構成されている。さらに山を削って埋め立て段差をつけることにより、低地には夜間無人となる駅や商業施設、中間部分に学校や役場、高台に居住地を設けている。課題としては分散する居住地を結ぶ公共交通の整備がある。

紫波町においては新駅の建設を、岩沼市と女川町においては震災による津波被害を契機とし、それぞれ大胆なまちづくりを進めている。コンパクトシティや市街地活性化がともすれば掛け声倒れに終わるなかで、市のリーダーシップや緻密な計画、ぶれない姿勢が事業の進展に表れているように感じた。

必ずしも本市のまちづくりとの共通部分は少ないかもしれないが、その手法については、本市の実情に合わせてアレンジすることで取り入れていくことができると思えるので、市当局と議論を深めて行きたい。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|-----------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-8 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 6, 4 8 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 0 年 9 月 5 日 | |
| 支出内容 | 平成 30 年 10 月 3 日 岩手県紫波町 オガールプロジェクトへの視察研修費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|--------|--|
| 領 収 書 | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| (該当○印) | 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

1-8

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領収番

No. 1830145

平成30年10月3日

喜田 紘平 様

金額 ￥ 3,240 —

但 オガールプロジェクト視察研修費として

上記金額正に領収いたしました。

| | |
|--------|-------|
| 内訳 | |
| 税抜金額 ￥ | 3,000 |
| 消費税額 ￥ | 240 |

収 入
印 紙

〒028-3318

岩手県紫波郡紫波町紫波中1丁目2番3-3

オガール紫波株式会社

代表取締役 佐々木



領収番

No. 1830151

平成30年10月3日

石口 智志 様

金額 ￥ 3,240 —

但 オガールプロジェクト視察研修費として

上記金額正に領収いたしました。

| | |
|--------|-------|
| 内訳 | |
| 税抜金額 ￥ | 3,000 |
| 消費税額 ￥ | 240 |

収 入
印 紙

〒028-3318

岩手県紫波郡紫波町紫波中1丁目2番3-3

オガール紫波株式会社

代表取締役 佐々木



支 出 書

| | | |
|---------------|--|-----------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-9 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 26,000 円 | |
| 支出年月日 | 平成 30年 11月 5日 | |
| 支出内容 | 平成30年12月15日 「いじめ防止プログラム」プロジェクト会議（兵庫県伊丹市）への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添，領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|--|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | 無 領収書を添付することができないため，上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

支出書整理No. 1-9

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年11月5日

(代表者) 榊原 則男 様

¥26,000

但、12月15日

「いじめ防止プログラム」プロジェクト会議（兵庫県伊丹市）への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|-----|
| 交 通 費 | 22,900円 | 伊丹 |
| 日 当 | 3,100円 | 1日 |
| 宿 泊 料 | | |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志



研究研修・調査報告書

| | | | |
|---|---|-------|--|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 30 年 12 月 18 日 |
| 代 表 者 | 榊 原 則 男 (印) | 報 告 者 | 石 口 智 志 (印) |
| 参 加 者 | 石 口 智 志 | | |
| 実 施 日 | 平成 30 年 12 月 15 日 ~ 平成 30 年 12 月 15 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 兵庫県伊丹市 伊丹市立産業・情報センター 「いじめ防止プログラム」研究プロジェクト会議 | | |
| 目 的 | 目撃時の行動に焦点をあてたいじめ防止プログラムの開発とその有効性に関する研究を行い，学校におけるいじめ防止教育の推進に資する。 | | |
| 研修内容 ○ 12 月 15 日 14 時～17 時 これまでの調査により，北イングランド公立中学校でのアンケート結果によると，いじめを目撃することはいじめ被害経験の有無にかかわらず，目撃者のメンタルヘルスに対して悪影響を及ぼすとともに，いじめ加害と同様に喫煙，飲酒，薬物乱用のリスクを高めることがわかっている。 また森田洋司の「いじめ集団の四層構造モデル」によれば，いじめを未然に防止したり深刻化させたりしないためには，目撃者の果たす役割が非常に大きいとされる。 また 2015 年行った調査によると，中学校 1 年以降，いじめはどんな理由があってもいけないという道徳的価値観あるいは規範意識は変化しないものの，実際にいじめを見たときに被害者を助ける生徒の割合は減少することも分かっている。 同調査から，いじめを目撃した時に被害者を助けようとした生徒は，「好ましい社会的スキルを持っている」「ストレスに対して問題焦点型の行動をとる」「意 | | | |

思決定スキルが優れている」「家族関係に関するセルフエスティームが高い」「家族や友人からのソーシャル・サポートを感じている」ことが明らかになった。

また第3回の会議では、ノルウェイやフィンランドのいじめ防止プログラムから、児童生徒の社会・情動能力「自己認識スキル」「自己管理スキル」「他者認識スキル」「対人関係スキル」「社会的意思決定スキル」の形成については、これまで取り組んできたライフスキル教育と共通することがわかる。

今回の会議では、すでにある中1を対象としたいじめ防止プログラム（ユニット1）「児童生徒間のトラブルが起こりにくい、よい関係をつくる能力の形成」「生徒間にトラブルが生じた際に、主体的かつ効果的にトラブルを解決する能力の育成」「トラブルがいじめなどの発展した際に、その悪影響を低減する能力の育成」に加えてユニット2として「いじめの真実」「いじめに関する意思決定」「いじめ防止について考える」「いじめ防止キャンペーン」を組み合わせ、中学1年生用のいじめ防止プログラムを作り上げることとし、参加者が小学校、中学校に分かれて協議を行った。

第1回会議（伊丹）は欠席したものの、第2回（綾部）、第3回（福山）、第4回（伊丹）と参加し、いじめ予防と児童生徒の行動変容に視点を当てた対策が必要と感じている。今後は、各学校において無理なく取り組める時間数などを考慮しながら、プログラムの内容を精査し、教材として使えるものにするとともに、その成果等を検証する中で福山市におけるいじめ対策に活かしていただくよう市教委に働きかけていきたい。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|---|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-10 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 2 2 , 4 6 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 0 年 1 1 月 1 5 日 | |
| 支出内容 | 平成 30 年 11 月 23 日 J K Y B ライフスキル教育・健康教育ワークショップ (京都府綾部市) への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|--------|---|
| 領 収 書 | <input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| (該当○印) | 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年11月15日

(代表者) 榊原 則男 様

¥22,460

但、11月23日
JKYBライフスキル教育・健康教育
ワークショップ(京都府綾部市)へ
の出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|-----|
| 交 通 費 | 19,360円 | 綾部市 |
| 日 当 | 3,100円 | 1日 |
| 宿 泊 料 | | |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志 (印)

研究研修・調査報告書

| | | | |
|--|--|-------|--|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 30 年 11 月 26 日 |
| 代 表 者 | 榑 原 則 男 榑原 | 報 告 者 | 石 口 智 志 石口 |
| 参 加 者 | 石 口 智 志 | | |
| 実 施 日 | 平成 30 年 11 月 23 日 ～ 平成 30 年 11 月 23 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 京都府綾部市 綾部市中央公民館 波多野記念堂 J K Y B ライフスキル教育・健康教育ワークショップ | | |
| 目 的 | いじめ防止についての課題を確認し、学校全体で取り組むライフスキル教育について体験的に学ぶ。 | | |
| <p>研修内容</p> <p>○ 11 月 23 日 9 時 45 分～12 時</p> <p>いじめについて研究していた森田洋司は、「いじめとは何か(中央公論社)」で、いじめには被害者、加害者だけではなく、いじめを囃し立てて面白がって見ている「観衆」と、見て見ぬふりをしている「傍観者」がかかわっており、いじめ被害の多さは、学級内におけるいじめ加害者の人数や「観衆」の人数よりも見て見ぬふりをする「傍観者」の人数と最も高い相関をしめすとしている。いじめの早期終結には、「傍観者」を減らし「仲裁者」を増やすことが効果的と考えられる。</p> <p>中学一年生を対象として学年初めと学年末にとったアンケートによると、「いじめはどんな理由があってもいけない」にあてはまるとした生徒数は目立った変化がないものの、いじめを目撃した時に助けようとした生徒の割合は減少を示していたことから、単なる道徳的価値観にとどまっていたのでは効果が期待しにくいことが分かる。</p> <p>同じアンケートから、被害者を助けようとする子どもの特徴は、「好ましい人間関係スキルをもっている」「ストレスに対して問題焦点型の行動をとる」「意思</p> | | | |

決定スキルが優れている」「家族関係に対するセルフエスティームが高い」「家族や友人からのソーシャルサポートを感じている」ことがわかり、こうした子どもを育てるため、話し役・聞き役・観察者役の3人単位でグループを作り、意思決定スキルやコミュニケーションスキル(傾聴スキル)を伸ばすための学習の進め方についてワークを行った。

○ 11月23日 13時～14時45分

対人関係の課題について、答えはYes・Noの二つだけでないこと、どの答えを選ぶかによって生じる影響等を検討しながら、より良い答えを導き出すために、「STOP(何について決めなければならないか)」「THINK(どんな選択肢があるかと予想される結果)」「GO(一番良いと思った選択肢と選択した理由)」の三段階で考え、ロールプレイングを行いながら、意思決定スキルや対人関係スキルを身につけさせる授業について体験した。

○ 11月23日 15時～16時20分

ワークショップの学びを学校・学年・学級の教育活動に活かすことができるか、綾部小学校の研究を踏まえ、様々な実践の報告と効果的なミニワークの体験を行った。月に1回程度、研究会を実施しており、全員が集まることは難しいものの、自分たちも楽しみながら研究を行っているという発言に納得させられた。

我が国のいじめ対策は、マスコミの報道(国民が注目するいじめ自殺事件)に押される形で文部科学省から地教委に対応策が示されており、被害者救済に焦点を当てたものとなっている。実際には文部科学省が発表するいじめ報告件数にばらつきが見られるように、いじめの認知と対処については課題を残しており、未だいじめによる自殺者が後を絶たない状況にある。

こうしたことから、いじめ予防と児童生徒の行動変容に視点を当てた対策が必要と考えられ、児童生徒のレジリエンシーに着目しながら、ライフスキル(生きる能力)を身につけさせる取り組みについて検討した。

市内にある綾部小学校は児童数が500人を超える中規模校であり、学校統合により遠距離から通う児童もいるとのことだが、参加された先生の話からいじめ予防の実践は効果をあげているとのことであった。「いじめはどこの学校でも起こる」という認識は必要だが、どこの学校にもあるわけではない。教育に携わる者は「いじめは防ぐことができる、少なくとも減らすことができる」という意識をもっていじめ予防に取り組むことが大切であると感じた。当ワークショップにおける研究や参加者の自校における取り組み内容の交流は有意義であり、今回学んだことを、福山市におけるいじめ対策に活かしていきたい。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|------------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-11 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 2, 0 0 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 0 年 1 1 月 1 5 日 | |
| 支出内容 | 平成 3 0 年 1 1 月 2 3 日 京都府綾部市 JK Y B ライフスキル教育・健康教育ワ ークショップへの参加費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|--|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | 無 領収書を添付することができないため, 上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

※ 別紙

※ 領収書添付用紙

支出書整理No.

1-11

(領収書添付欄) ※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※ 梓
その

については、
い。

領 収 書

石口 智志 様

金額 2,000 円

但 J KYBライフスキル教育ワークショップ近畿 2018 参加費として

2018年 11月 23日

J KYBライフスキル教育研究会 近畿
支部長 宇佐見 謙



支 出 書

| | | |
|---------------|--|------------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-12 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 88,200 円 | |
| 支出年月日 | 平成 30年 11月 22日 | |
| 支出内容 | 平成30年11月26日～11月28日 産学官医工連携について行政視察及び企業視察（富山県朝日町）への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添，領収書のとおり | |

| | |
|--------|--|
| 領 収 書 | <input checked="" type="radio"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| (該当○印) | 無 領収書を添付することができないため，上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

支出書整理No. 1-12

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2018年11月22日

(代表者) 榑原 則男 様

¥88,200

但、11月26日～11月28日
産学官医工連携について行政視察及
び企業視察(富山県朝日町)への出
張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました



| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|--------|
| 交 通 費 | 49,300円 | 富山県朝日町 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 小川 眞和



研究研修・調査報告書

| | | | |
|-------------|---|-------|---|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 30 年 11 月 30 日 |
| 代 表 者 | 榊原 則男  | 報 告 者 | 小川 眞和  |
| 参 加 者 | 小川 眞和 | | |
| 実 施 日 | 平成 30 年 11 月 26 日 ～ 平成 30 年 11 月 28 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 富山県下新川郡朝日町 株式会社アムノス 朝日町役場 | | |
| 目 的 | 企業視察 産学官医工連携について | | |

研究研修・調査等の概要

○11月27日10:00～12:00 株式会社アムノス

田中 淳 代表取締役社長, 西田 康彦 責任技術者・工場長より事業説明を受ける。アムノスとは産学官および医工連携を実現する富山大学発のベンチャー企業として平成26年1月に設立。

富山大学が開発した「ハイパードライ技術」を用いた乾燥羊膜の事業化に向けた臨床研究, 製造販売を行う。

パートナー企業として, 格式会社TSS (電子部品, 医療機器の製造・販売), ポエック株式会社 (環境・エネルギー関連機器) が財務面や運営面で事業開発に協力している。

富山大学が富山県の医薬工連携ネットワーク事業により研究開発したハイパードライ羊膜は, 羊膜の機能を持ったまま長期間の保存ができ, 日米で特許を取得している。体の表面だけではなく, 体の中にも貼ることができ, 富山大学二階堂教授は「生体由来の高品質の絆創膏」と例えている。

工場にはいろいろなノウハウが詰まっており, 非常にハイテクテクノロジーである。経済産業省, 厚生労働省, 文部科学省が立ち上げた, 日本医療研究開発機構 (AMED) の医工連携事業化推進事業の採択を平成28年度から受け, 国家プロジェク

トとして日本のみならずアメリカ市場参入のため乾燥羊膜の製品化を推進している。

○11月27日14:00～17:00 朝日町役場

富山県下新川郡朝日町 笹原 靖直 町長，加藤 好進 議長，商工観光課 大谷 和哉 課長代理より企業誘致にかかる事業説明を受ける。

アムノスの工場誘致にあたり水田（米作）用地を4ha工業用地へ転換。

工場建設発表の折には富山県知事より「地方創生のモデルケースにしたい」とエールをいただいた。

過疎対策，雇用創出のため町長自らがトップセールスに力を入れており，企業立地推奨事業として様々な施策を展開している。

朝日町を挙げて企業立地サポート制度として，事業所などを町内で新規立地・増設する場合に，用地や建物等に係る費用の一部を補助する事業を行なっている。

- ・企業立地推奨事業

用地，建物，設備等の新規立地や増設に係る経費に応じて補助金を交付

- ・雇用創出補助事業

町内に住民登録がされている者が雇用された場合 一人当たり25万円

- ・固定資産税補助事業

固定資産税相当額を3年間交付

- ・本社機能施設等移転奨励事業

本社機能を県外から移転した場合，費用の10%を交付 等

産学官一体で世界市場へのりだすグローバル企業「アムノス」は県の医薬工連携ネットワーク事業である医工連携事業の成果。

急成長が見込まれる先進分野の生産拠点の朝日町へ誘致成功は，町を挙げて企業立地を応援している成果。

行政の今日的課題である過疎対策，雇用創出への成功事例であり，議会として政策提言に活かしていきたい。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|------------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-13 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 1, 3 7 7, 3 1 0 円 | |
| 支出年月日 | 平成 3 1 年 1 月 8 日 | |
| 支出内容 | 平成 31 年 1 月 22 日～1 月 24 日, 行政視察（北海道余市町及び旭川市）への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|--|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | <input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榑原 則男 様

¥160,090

但、1月22日～1月24日
行政視察(北海道余市町及び旭川市)への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|--------|
| 交 通 費 | 121,190円 | 余市, 旭川 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 小 林 茂 裕



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榊原 則男 様

¥160,090

但、1月22日～1月24日
行政視察(北海道余市町及び旭川
市)への出張旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|--------|
| 交 通 費 | 121,190円 | 余市, 旭川 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 熊谷 寿人



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榑原 則男 様

¥160,090

但、1月22日～1月24日
行政視察（北海道余市町及び旭川
市）への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|--------|
| 交 通 費 | 121,190円 | 余市, 旭川 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 五阿彌 寛之



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榑原 則男 様

¥160,090

但、1月22日～1月24日
行政視察（北海道余市町及び旭川市）への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|--------|
| 交 通 費 | 121,190円 | 余市, 旭川 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 榑原 則男



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榊原 則男 様

¥160,090

但、1月22日～1月24日
行政視察（北海道余市町及び旭川市）への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|--------|
| 交 通 費 | 121,190円 | 余市, 旭川 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 今 岡 芳 徳



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榑原 則男 様

¥160,090

但、1月22日～1月24日
行政視察(北海道余市町及び旭川
市)への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|--------|
| 交 通 費 | 121,190円 | 余市, 旭川 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 連石 武則



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榊原 則男 様

¥160,090

但、1月22日～1月24日
行政視察（北海道余市町及び旭川市）への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|--------|
| 交 通 費 | 121,190円 | 余市, 旭川 |
| 日 当 | 9,300円 | 3日 |
| 宿 泊 料 | 29,600円 | 2泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榑原 則男 様

¥128,340

但、1月22日~1月23日
行政視察(北海道余市町)への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|-----|
| 交 通 費 | 107,340円 | 余市町 |
| 日 当 | 6,200円 | 2日 |
| 宿 泊 料 | 14,800円 | 1泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 高 田 健 司



(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月8日

(代表者) 榑原 則男 様

¥128,340

但、1月22日~1月23日
行政視察(北海道余市町)への出張
旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|----------|-----|
| 交 通 費 | 107,340円 | 余市町 |
| 日 当 | 6,200円 | 2日 |
| 宿 泊 料 | 14,800円 | 1泊 |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 大田 祐介



研究研修・調査報告書

| | | | |
|-------------|---|-------|--|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 31 年 2 月 1 日 |
| 代 表 者 | 榊 原 則 男 印 | 報 告 者 | 石 口 智 志 印 |
| 参 加 者 | 1月22日～1月23日（北海道余市町） 高 田 健 司 大 田 祐 介 1月22日～1月24日（北海道余市町，旭川市） 小 林 茂 裕 熊 谷 寿 人 五 阿 彌 寛 之 榊 原 則 男 今 岡 芳 徳 連 石 武 則 石 口 智 志 | | |
| 実 施 日 | 平成 31 年 1 月 22 日 ～ 平成 31 年 1 月 24 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 北海道余市町役場 余市・仁木ワインツーリズムについて 北海道旭川市まちなか交流館 まちなか交流館について | | |
| 目 的 | 他市行政の先進的な取り組みを視察研修し議会活動に生かす | | |

研修内容

○ 1月23日 10時30分～12時

視察：余市・仁木ワインツーリズムについて（北海道余市町）

余市町も他市と同様農業従事者の減少や高齢化が進んでおり，6次産業化を政策目標に掲げ農業の衰退に歯止めをかける施策に取り組んでいる。全国の醸造用ブドウの栽培面積の34.4%，収穫量の23%を北海道が占めており，北海道の栽培面積の31%，収穫量の52.5%を余市町が占めており，栽培面積・収穫量ともに全国のトップクラスにあることから，成長が期待できるワイン用ブドウ栽培とワインの生産に取り組んでおり，ワイン産地「余市」のブランド化をめざしている。

「ワイン特区」の目的としては，少ない投資でワインの醸造を始められ，ワイナリーが増えることで，ブランド化につながるとしている。平成23年の特区認定以降ワイナリーがそれまでの2か所から11か所に増え，ワイン教室，生産者学習会，ワインを楽しむ会やワインパーティーなどが開催されている。またさっぽろオータムフェストへの出展なども行っている。

ワイナリーの増加だけでなく、品評会での入賞などブランド化も進んでいる。今後は安定的な原材料の確保の観点から新規就農者の確保や観光振興に向けたワイナリー・ヴィンヤード等の受け入れ態勢の整備、食とのマッチングなどに取り組んでいく。

○ 1月24日 10時30分～12時

視察：まちなか交流館について（北海道旭川市）

旭川駅から旧陸軍第7師団を結ぶ通りの沿道に商店街が形成され、昭和20年通りの名称は「平和通」と名付けられ、旭川市のメインストリートとして発展してきた。

社会の変化（車社会や郊外型店舗の出展等）により空き店舗が増加し中心市街地の空洞化が懸念されるようになってきたことから、基本計画を策定し、平和通買物公園を中心とした賑わい創出を図るため、観光案内や物産品の展示即売、商店街情報の提供のほか学生を中心とした市民の学習・交流の場、子ども広場、健康相談機能等を集約したまちなか交流館を設置したもので、管理運営を担うまちなかマネジメント協議会により様々な賑わい創出事業（まちなかビアガーデン、水曜日、まいど朝市、まちゼミ、まちなかつアールなど）を実施するほか、他団体と共催で実施する緑道文化まつりのように100万人を集めるフェスティバルなども実施されている。

駅から交流館までについては、イオン等の新たな出店もあり賑わいの創出につながっており、交流館から緑道の間については空き店舗も見られるが、新たな出展も多くあり、中核施設としてその役を果たしている。

冬の北海道で寒波の影響や交通機関の遅れ等計画通りの移動が難しかったが特に視察への影響もなく、視察内容について本市のワイン特区や中心市街地の活性化への取り組みと共通する部分も多く、成果や課題等参考となる部分が多々あり、成果の多い視察であったと思う。

本行政視察で学んだことを参考にして本市の現状を考慮した方向性を示すとともに、議会における一般質問や委員会質疑を通じて施策提案につなげていきたい。

支 出 書

| | | |
|---------------|--|------------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-14 |
| 科 目 (該当○印) | ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 22,460 円 | |
| 支出年月日 | 平成 31年 1月 10日 | |
| 支出内容 | 平成31年1月29日 公開授業「算数科、プログラミング」(京都府綾部市)への出張旅費 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|--------|---|
| 領 収 書 | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| (該当○印) | 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

領収書添付用紙

支出書整理No.

1-14

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

2019年1月10日

(代表者) 榊原 則男 様

¥22,460

但、1月29日
公開授業「算数科、プログラミング」(京都府綾部市)への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

| | 金 額 | 摘 要 |
|-------|---------|-----|
| 交 通 費 | 19,360円 | 綾部 |
| 日 当 | 3,100円 | 1日 |
| 宿 泊 料 | | |
| () | 円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 石口 智志



研究研修・調査報告書

| | | | |
|-------------|---|-------|--|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 報 告 日 | 平成 31 年 2 月 1 日 |
| 代 表 者 | 榊 原 則 男 榊原 印 | 報 告 者 | 石 口 智 志 石口 印 |
| 参 加 者 | 石 口 智 志 | | |
| 実 施 日 | 平成 31 年 1 月 29 日 ～ 平成 31 年 1 月 29 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 研究発表会 京都府綾部市 綾部小学校 | | |
| 目 的 | <p>本研究発表会のテーマは、「21 世紀型能力による学力向上システムの構築～すべての学校で活用できるプログラミング教育の開発～」であり、新学習指導要領下におけるメタ認知とプログラミング教育のあり方について学ぶ。</p> | | |
| 研修内容 | <p>○ 1 月 29 日 10 時 50 分～11 時 35 分 公開授業 I 5 年生算数科「円と正多角形」</p> <p>円を活用した正多角形の作図について学んだ児童がプログラミング環境「scratch」(スクラッチ)を活用して正多角形を作図する学習活動に望む授業。</p> <p>スプライト(キャラクター)を「○歩動かす」「○歩回す」の命令を組み合わせで正方形を作図する。同じ命令を何度も入力するのではなく、正多角形は辺の長さ と角の大きさがすべて等しいという性質を利用して、「○歩動かす」「○度回す」 のブロックを「○回繰り返す」命令を入力することですべての正多角形を作図 できることを学ぶ。</p> <p>スクラッチはネット上で取得できるソフトであり、児童はソフトを使いこな しプログラミングの楽しさを実感している。正方形は内角・外角ともに 90° の ため「90 度回す」で作図できるが、正三角形では、内角 60° , 外角 120° の違 いから、当初の入力「60° 回す」では正三角形を作図できず、入力を間違えると 正しい結果が得られないことを学ぶ機会もある。</p> | | |

○ 1月29日 11時40分～12時25分

公開授業Ⅱ 6年理科「発電と電気の利用」

手回し発電機を利用した発行ダイオードの点灯により電気が光に代わることを学んだあと、プログラミングにより信号機をつくることに挑戦する。

「Micro: bit」(マイクロビット)を活用し、赤黄青の電球の点灯をプログラムし、それだけでは信号機の役目を果たさないことから、点滅の順序や点灯時間をプログラミングすることで、人がついて操作しなくても信号機としての役目を果たすことから、電気は光や音、熱、運動に変換でき、コンピューター制御により我々に便利さや安全を提供してくれていることを学び、理科におけるプログラミング的思考の育成に取り組む授業を行った。

○ 1月29日 13時25分～15時50分

研究協議

研究協議は、研究授業の狙いや成果について質疑応答という形で行われたが、参加者が多すぎ内容を深めるには至らなかった感がある。しかし、質問者は静岡、愛知、大阪、愛媛、岡山など府外からの参加者で占められ、遠方から参加した先生方の熱意を感じた。

プログラミング教育については、いずれの学校も手探り状態であり、こうした研究会への参加にいたったものと考えているが、助言者から「(教師も)英語は中学生の時に習っており、小学校への導入についてもおおよその程度だろうと予測できる。プログラミング教育はゼロからのスタートであり、戸惑っているのも分かるが、教えるのでなく一緒に学ぶということではないか。楽しさを感じられる教育をすべきだ」とのアドバイスもあり、授業参観で見た児童の生き生きとした姿に、助言が生かされていると感じた。

今回の研究テーマは「21世紀型能力による学力向上システムの構築～すべての学校で活用できるプログラミング教育の開発～」であり、参加者は府内外から150人を超え、府外では北は青森から南は長崎まで静岡、愛知、愛媛など全国各地から参加があった。奈良教育大学と連携してプログラミング教育を進めており、授業の各所に工夫がみられた。システムも古いパソコンのOSをリナックスに入れ替え動作を軽くするとともに安価なマイクロビットを導入することで金をかけず複数の学級(コンピュートルーム以外でも)でのプログラミング教育を可能にしている。今後、新学習指導要領下でプログラミング教育を進めていくうえで、機器の問題や算数科以外の教科との関連など綾部小学校の取り組みにヒントがあると思われる。

綾部小学校は、全国学力・学習状況調査では、国語・算数ともB問題(応用力)で全国平均を10ポイント程度上回っており、校長の話にあった、私たちは児童に幸せ

になってほしいと思っている。幸せになるために何を学ばばいいかを考えながら日々の教育活動をしていることが、児童の自己肯定感の高さや学ぶ意欲・考える力につながっているのではないかと感じた。このことを市教育委員会に提言していきたい。

支 出 書

| | | | |
|---------------|--|-------|-------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. | 1. 15 |
| 科 目 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | | |
| 金 額 | 44,050 円 | | |
| 支出年月日 | 平成 31 年 / 月 28 日 | | |
| 支出内容 | 平成31年2月6日~7日 旅費 石巻屋中央卸売市場 | | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | | |

| | |
|-----------------|---|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | <input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため, 上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 _____ 印 |

領収書添付用紙

支出書整理No. 1-15

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会

平成31年 1月 28日

(代表者) 柳原則男 様

¥44,050-

但、2月6日~2月7日

石居屋中・石居屋中央卸売市場

出張旅費

上記正に領収いたしました

[内 訳]



| | 金額 | 摘要 |
|-----|---------|------|
| 交通費 | 24,600 | 石居屋 |
| 日当 | 4,650- | 1.5日 |
| 宿泊料 | 14,800- | 1泊 |
| (計) | 44,050円 | |

(会派名) 水曜会

(名 前) 能谷寿人



研究研修・調査報告書

| | | | |
|--|--|-------|--|
| 会 派 名 | 水曜会 | 報 告 日 | 2019年4月16日 |
| 代 表 者 | 榊原則男  | 報 告 者 | 熊谷寿人  |
| 参 加 者 | 熊谷寿人 | | |
| 実 施 日 | 2019年2月6日 ~ 2019年2月7日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 名古屋中央卸売市場 | | |
| 目 的 | 名古屋中央卸売市場視察研修 | | |
| <p>市場視察並びに研修</p> <p>2月7日(木) 7:20 市場到着</p> <p>7:20~ 8:30 市場内店舗にて朝食</p> <p>8:30~ 9:30 市場施設見学</p> <p>9:30~ 10:30 市場管理等にて意見交換会</p> <p>10:30 市場出発</p> | | | |

<意見交換会・整備概要>

名古屋中央卸売市場出席者

豊田 英彰（本場長）
佐藤 勝（管理課長）
仙谷 裕宣（業務課長）
太田 元紀（庶務係長）
小谷 武志（業務係長）
竹内 真也（業務課主査）

名古屋市中央卸売市場の豊田本場長から歓迎のあいさつがあり、福山地方卸売市場流通対策協議会会長、熊谷がお礼のあいさつをおこないました。続いて事前に福山地方卸売市場から提出していた質問票に基づいて、管理業務については佐藤管理課長、業務内容については仙谷業務課長の方から詳しく説明がありました。

名古屋市には中央卸売市場の本場をはじめ、青果物の北部市場と食肉の南部市場の3つの市場があります。私たちが視察した本場は生鮮食料品の総合卸売市場として昭和24年4月に業務を始めています。敷地17万2千平方メートルの広大なもので、中部圏の青果物や水産物の拠点市場として、その中核的な役割を担われている市場であります。

尚、北部市場は、枇杷島市場として昭和30年1月に開場し、当初は生鮮食料品、昭和60年から水産物部の業務も開始しています。南部市場は、高畑市場として昭和33年10月に開場し、名古屋圏における食肉の拠点市場としての役割を担っておられます。

市場先進地視察質問事項に沿って詳しく説明をいただきました。名古屋市中央卸売市場は圏域を名古屋市、対象となる供給対象人口230万人で、市場の規模、業務内容、敷地面積などは、福山地方卸売市場とは比べものにならない感じもしましたが、市民の食生活の安心・安全を確保し、生鮮食料品を適正な価格で小売店やスーパー・消費者にすみやかに提供するといった果たすべき役割は共通するものがあります。

卸売市場ごとの取扱高で、名古屋市中央卸売市場は全国の卸売市場にあって青果で10位、水産で3位の取扱高、その8割が愛知県内に供給されており、市民の食生活に欠くことのできない市場とのことでした。

意見交換の中で議論された主な内容では、人材確保、育成については、募集をかけても新卒者についても集まらない状況で、平成31年の採用状況は5~6名程度だそうです。外国人については、子会社において10名ほどのベトナム人を実習生として1年間採用しているとのことでした。市場運営に欠かせない人材の不足が深刻な状況にあることが報告されていました。また、品質管理への対応については、水産・青果とも卸売場の低温化拡張に努めてきた。今後、市場全体のコールドチェーン化としては、鮮魚・青果仲卸売場の低温化も必要であり、課題として認識していると述べられた。低温管理については、福山も同じ課題を抱えており、施設の改善策も早急に考えていかななくてはなりません。

福山にあっては、市場開場から46年が経過し、施設の老朽化対策等を含め、今後の福山地方卸売市場のあり方について、昨年あり方懇談会を立ち上げていますが、基本的な方向を打ち出す時期に来ています。

圏域の70万市民の食生活の安心・安全を確保するための施設として、福山地方卸売市場は、早急に将来の方向を打ち出すことが求められていると感じました。

以上

支 出 書

| | | |
|---------------|---|------------|
| 会 派 名 | 水 曜 会 | 整理No. 1-16 |
| 科 目 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> ① 調査研究費 2 研 修 費 3 資 料 作 成 費 4 資 料 購 入 費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要 請 ・ 陳 情 活 動 費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費 | |
| 金 額 | 50,340 円 | |
| 支出年月日 | 平成 31 年 4 月 8 日 | |
| 支出内容 | 渋谷区ポータルサイトの証明等の 調査研究のため、平成31年 3月1日 | |
| 支 出 先 | 別添, 領収書のとおり | |

| | |
|-----------------|--|
| 領 収 書 (該当○印) | <input checked="" type="checkbox"/> 有 (別紙の領収書添付用紙へ添付) |
| | <input type="checkbox"/> 無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印 |

領収書添付用紙

支出書整理No. 1-16

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

※枠内に収まらない場合は領収書を縮小して添付するか、又は、A4版の領収書等については、そのまま添付してください。その場合は、支出書整理No.を右上に記入してください。

領 収 書

(会派名) 水曜会
(代表者) 杉原 則男 様

31年 4月 8日

¥50340-

但、3月1日~3月1日

行政視察(東京都北区)等

出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました



| | 金額 | 摘要 |
|-----|--------|----|
| 交通費 | 47240 | |
| 日当 | 3100 | |
| 宿泊料 | | |
| () | 50340円 | |

(会派名) 水曜会

(名前) 豊石 武則



研究研修・調査報告書

| | | | |
|---|---|-------|---|
| 会 派 名 | 水曜会 | 報 告 日 | 平成 31 年 3 月 26 日 |
| 代 表 者 | 榑原 則男  | 報 告 者 | 連石 武則  |
| 参 加 者 | 連石 武則 | | |
| | ----- | | |
| | ----- | | |
| 実 施 日 | 平成 31 年 3 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 1 日 | | |
| 研究研修・調査等の場所 | 東京都渋谷区 | | |
| 目 的 | 渋谷区パートナーシップ証明に係わる調査研究のため | | |
| | ----- | | |
| | ----- | | |
| 研究研修・調査等の概要 | | | |
| 13 : 50 渋谷区文化総合センター大和田にて男女平等・ダイバーシティ推進主査 ～ 境野泰江氏より説明を受ける。 | | | |
| 15 : 30 パートナーシップ証明書の発行の原点は現区長長谷部健氏が議員時代に LGBT の仲間から一般生活における現状について相談を受ける中で、一般 の婚姻者等との差異について改善の方向性について、当時の区長に議員仲 間同士で一般質問の形で問題提起をした。 | | | |
| 内容的には、同性パートナーに公的書類を発行する渋谷区の考えが二人の 思いを公的書類で担保するとともに、内外に対して安心感を与えることにな ると感じた。また、条例で区内の事業者に公平・適切な対応を求めるな ど対象者に寄り添った運用を行っている。今後福山市での対応も検討と考 える。 | | | |